

新春2020 インタビュー

業界をリードする
関連企業の戦略を聞く

「ゴルフ場のパートナーであり続けます」
信頼と実績の52年

株式会社クリエイト

株式会社クリエイトは、ゴルフ場専門のハード/ソフトウェア開発・販売会社として1967年に創業。最先端のコンピュータシステムを扱う会社でありながら、「ビジネスとはいえ人対人」を社是に人間としての付き合いを大切に姿勢、そしてシステムの完成度の高さが、多くのゴルフ場から不動の評価を得ている。代表取締役である波多野淳氏に2019年の総括と、2020年の方向性をお聞きした。

— 相変わらずお元気そうですが、2019年はどのような年でしたか？

波多野 はい、相変わらず元気です！(笑) 2019年もおかげさまで忙しくさせていただきました。当社はシェアの拡大に重きを置いた営業はしておりますが、それでも、ゴルフ業界の横のつながりなどから新規のお客様も着実に増えておりま

す。当社のお客様が私たちのシステムを他のゴルフ場に薦めてくださるので、大変有難く大変うれしく思っております。お客様のご期待を絶対に裏切るわけにはいかないのです、社員一同更に引き締めております。また、最近では益々お客様が私たちの提案や意見に耳を貸してくださるようになり、積極的な質問もいただくようになってきました。

— それは、どのような理由とお考えですか？

波多野 経営者、支配人の世代交代による若返りも要因かもしれません。やはり世間一般IT化の流れが当たり前になってきたので、より一層システムの重要性が再認識されてきていると思います。

自動精算機やカートナビなど表面化しているIT化は、誰が見てもメリットがわかりやすいと思いますが、基幹システムのデータベースマーケティングなどはなかなか理解していただけないものです。

私たちがいくら重要性を訴えても、営業トークと思われてしまえばそれまでですが、同じ業界のかたが薦めてくださいますとやはり説得力があるようです。

ゴルフ場としてはやはりまず集客し、売り上げを伸ばすことが重要なミッションですが、そのために私たちはまず現状分析を提案します。誰でも考えつくような万人受けする営業施策は、本当の営業施策ではないと考えるからです。

来場者の様々なデータを素早く分析できるのが本当の意味で必要とされるシステムでしょうし、それを開発するのが我々の役割だと思っております。システムに求められるものが時代とともに明らかに変わってきていると思います。

過去に「うちはクリエイトさんのシステムの10分の1くらいの機能しか使っていない」とお客様に言われたことがありました。

「システムを使いこなせない」というゴルフ場が昔は結構ありましたが、先ほど申し上げたように、それが最近少しずつ変わってきました。これからはより一層お客さまと一緒に考え、最適な集客、売り上げ増を目指していただければと思っております。

— 年号改元や消費税率アップなどもありましたが、混乱はありませんでしたか？

上がりません。スリーツアーズのような団体戦にして個別対抗の色を濃くすれば「にわかファン」も増えて盛り上がると思うのですが、どなたか影響力のある方が声をあげていただけないかなと常々考えています。いずれにしても、開催までメディアなどを上手に使い、オリンピックTですが、注目のキーワードを教え下さい。

波多野 数年前から申し上げていますが「デジタル・ディスプレイ」です。デジタル・ディスプレイは「崩壊」の意味で、すでにある産業を根底から揺るがし、崩壊させてしまうような革新的イノベーションのことを言います。何かの記事で読んだのですが、携帯電話が普及していく中で、それまで単に電話と呼ばれていた道具が「固定電話」と呼ばれるようになったように、単に年賀状と呼ばれていた年賀ハガキが「紙ベースの年賀状」と呼ばれるようになってきているそうです。

— SNSの普及が主な原因でしょうか？

波多野 その通りです。最近では主にLINEによる年賀状が圧倒的らしいのですが、紙の年賀状や手紙がすぐになくなることはないと思



波多野 調査と準備を万全にしていたので、全く問題はありませんでした。面倒な軽減税率にもスムーズに対応できたと思います。またそれにかかる費用も、私がいつも申し上げる「正当な対価」を設定しました。決して期待していなかったのですが、多くのお客様からお褒めと感謝のお言葉をいただきました。こうしたお言葉をいただくのと、私たちがまたモチベーションが上がります。

— ゴルフ業界にとっては、ルール大幅改正、また、渋野プロの活躍や米PGAツアー日本初開催などが話題になりました。

波多野 ルール改正に関しては大正解じゃないでしょうか。これによりシンプルかつ進行が早くなりました

みな顔が違うように筆跡も違い、個性が現れますし味があります。手書きの温かさや誠意が求められることもあるでしょう。肝心なのは、それぞれのケースに応じて最適な手段を人間が選ぶことではないでしょうか。そしてこういう時代だからこそ当社の社訓である「人対人」が、ますます大事になってくると確信しております。

— 最後にゴルフ場に向けてメッセージをお願いします。

波多野 時代も令和になりましたが、やはり変わらず、明るく楽しく元氣よく笑顔で頑張らしましょう！「笑う門には福来たる」です。当社はゴルフ場のIT部門になりたいと思っております。何かお困りのことなどありましたら、お気軽にいつでもご相談下さい。2020年もよろしくお願ひいたします！

— 本日はありがとうございました。



代表取締役 波多野 淳氏

よね。ルールの簡素化はゴルフファターの創出に関わることだと思えますし、進行がスムーズになればゴルフ場も運営が楽になりますよね。

そして、渋野プロですが、注目度は抜群ですね。私は彼女が国内初優勝、二度目の優勝、そして全英後初の凱旋帰国一戦目と、いずれもトーナメント会場にいました。勝手に不思議な縁を感じています(笑)。やはり彼女は笑顔がいいですし、自然体で人間性に魅力があります。ゴルフというスポーツに親しみやすさを与えてくれたのではないのでしょうか。

また、悪天候の中でしたが「ZOZO Oチャンピオンシップ」で多くのギャラリーが千葉に集結しました。久しぶりに来日したタイガー・ウッズが優勝し、大いに盛り上がりましたね。

— 悪天候といえば、2019年も台風が猛威をふるいました。

波多野 被災されたゴルフ場、および関係者の方々は心よりお見舞い

申し上げます。当社のお客様も、特に河川敷のコースはいまだに(注・インタビューは11月中旬)大変な思いをされています。冠水後の復旧作業は、私もボランティアをやったことがありますが本当に大変な作業です。早くしないと芝が窒息してしまふという、時間との戦いもありますし、いずれにしても、ハイシーズンを棒に振ってしまったコースは本当にお気の毒です。自然との共存がゴルフの宿命ですが、大きな災害が多すぎますよね。だんだん地球が壊れているような気がしてなりません。

— これ以上天災に遭わないよう祈るばかりです。さて、2020年はオリンピックです。「ラグビーワールドカップ」の様な盛り上がりは期待できるでしょうか？

波多野 私はラグビー経験者でもあるので、今回のラグビーワールドカップはすごく楽しみにしております。そして、私の予想を上回る盛り上がりでした。やはり日本人はみんなで国を挙げて応援するというのが好きですね。来年日本で開催されるオリンピックで、ゴルフも同じように盛り上がりつつあればいいのですが、ゴルフはラグビーと違って個人スポーツです。四日間のストロークプレーでは通常のトーナメントとさほど変わらず、競技時間も長いのですし、日本人が上位にいないと盛り

お問い合わせ
株式会社クリエイト
〒180-0014
東京都武蔵野市関前5-11-19
TEL 0422(54)4040
FAX 0422(54)6177
Q&A 0422(54)4420
E-mail: sales@create-golf.co.jp/
URL: http://www.create-golf.co.jp/